



### 幼稚園より

**アドヴェント礼拝**  
 11/27 金 9:40～  
 12/ 4 金 9:40～  
 12/11 金 9:40～  
**保護者会クリスマス礼拝**  
 12/ 7 月 10:00～  
**クリスマス礼拝**  
 12/16 水 9:40～  
**3学期始業礼拝**  
 2016年1/ 8 金 9:40～  
**聖書を学ぶ会**  
 2016年2/ 1 月 9:40～  
**卒園礼拝 (年長児)**  
 2016年3/ 7 月  
**終業礼拝**  
 2016年3/14 月  
**卒園式**  
 2016年3/15 火

(教諭 迫田 敏幸)

### 初等部より

**感謝祭礼拝**  
 11/24 火 初等部米山記念礼拝堂  
**保護者のためのクリスマス礼拝**  
 12/ 4 金 初等部米山記念礼拝堂  
**アドヴェント・コンサート**  
 12/ 4 金 初等部米山記念礼拝堂  
 演奏 鶴 晶子 入場無料  
 (青山学院大学オルガニスト)

**クリスマス讚美礼拝**  
 12/19 土 15:00～17:30 青山学院講堂  
**初等部チャペルコンサート**  
 2016年2/25 木 15:40～16:30  
 初等部米山記念礼拝堂  
 ハンドベルクワイア、聖歌隊、トランペット隊

(宗教主任 小澤 淳一)

### 中等部より

**クリスマス礼拝**  
 12/17 木 14:00～15:30 青山学院講堂  
 礼拝はページェント形式で行われ、聖歌隊・聖書朗読などあらゆる奉仕が生徒によって進められます。  
**特別養護老人ホーム 救世軍恵泉ホーム訪問**  
 2016年1/23 土 14:30～15:30  
 ハンドベルクと華曲部の演奏。  
 一般参加の生徒たちは、入居者の方々と菓実や語らいの時間をもちます。  
**保護者聖書の会**  
 2016年1/27 水 10:50～12:00 西大教室

(宗教主任 西田 恵一郎)



表紙写真 青山学院のクリスマス礼拝風景

## クリスマス・ツリー点火祭

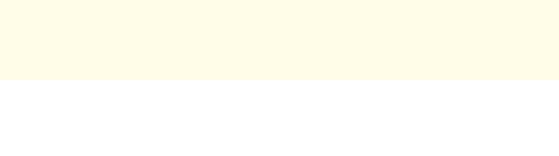
### 青山キャンパス 御心に抱かれながら

相良 昌彦  
高等部宗教主任

「青山キャンパスの点火祭が今年変わるんですよ。」  
 「え!?! どうなるんだらう?」さあ、どう変わるのでしょうか。そもそも、点火祭とはどのような集まりだったのでしょうか。  
 青山学院では待降節の始まりに最も近い金曜日の夕べ、相模原キャンパス、青山キャンパス共にクリスマスツリーの点火礼拝を守ります。通称、点火祭として多くの学生、卒業生たちに愛されてきました。陽が落ちて街や通りに灯りが灯され、図書館や教室の窓の明るさが目につく頃、両キャンパス共、クリスマスツリーの周囲に集められた一人ひとりが、初めて顔を合わせる者も皆、主なる神の前に招かれる主の家族とされる時として。

点火礼拝はクリスマスを待ち望む季節の始まりを告げる青山学院の礼拝です。2000年前のクリスマスの夜、私たち一人ひとりへの主なる神からの愛は、幼子イエスの誕生として私たちの歴史の中に現れられました。「わたしの目にあなたは偏高く、貴く、わたしはあなたを愛する(イザヤ書43章)」まさにその言葉通り、主なる神は、この私たちのために主イエスを遣わされ、その主イエスは、十字架の丘へと歩まれます。いつしか、そこまで私たちを思われる主なる神への応答として、この季節は受難節と同じ色、悔い改めの心を表す紫をもって過ごすようになりました。

青山キャンパスにおいて、今年度私たちは、灯りが灯されるクリスマスツリーの前ではなく、あえてガウチャー礼拝堂入口に集められて礼拝を守ります。それは、学院の歩みの中心である礼拝の場に集められることを通して、日々の礼拝の中で生かされる共同体として点火礼拝を分かち合いたいという祈りの表れです。



左:ガウチャー礼拝堂の入り口  
 中央:クリスマスツリー  
 右:ガウチャー礼拝堂

United Church of Christ in Japan, Rokkakubashi Church

シリーズ・私の教会 file 71

## 日本キリスト教団六角橋教会

### 加山 真路

大学非常勤講師

東急東横線白楽駅から歩いて7～8分の住宅街の中に、六角橋教会は静かにたたずんでいます。地元の商店街は、戦後の焼け跡にできた開市から発展し、今も昭和の香りが色濃く残っています。近くに神奈川大学があるので若者の姿も多く、商店街が学生とコラボして開く催しがテレビでしばしば取り上げられます。今や60代・70代の店主たちの中には、かつて日曜学校に通っていた人も少なくありません。教会員も、週ればこの地に縁のある人が多いので、「地元」に根を深くおろした教会として発展してきたといえるかもしれません。

創立は1902年。福音同胞教会という小さな教派の宣教師が、隣町に「神奈川聖書講義所」として建てたのが始まりでした。その後、現在の地に移ってきたのですが、1960年代まではこじんまりした家庭的な教会でした。いつしか規模が大きくなりましたが、その雰囲気は今も大切にしています。一度関われば、誰もが自分のペースで息長くながれる居場所。誰でも気軽に立ち寄り、初めての人も居心地よく感じられる止まり木—そんな教会でありたい。それが100年以上変わらぬ私たちの思いです。  
 10代から30代の若い世代も、よくやってきます。礼拝には、ふだんの目にも、茶飲み話に來たり、宿題や相談事を持って來たり…。ずっと來れなかった人が、何十年かぶりに子どもを連れて來て、親の立場に



なって改めて教会の存在や聖書の魅力を再発見することもよくあります。教会を支えるのは、ほかならぬ「み言葉」、聖書のメッセージです。それは礼拝や教会の中に止まるものではありません。むしろ、それぞれの暮らしに根を張ってこそ力を発揮するもの。日々直面する小さな決断のひとつひとつを導き、万華鏡のように変わる人間関係を受けとめ、ピンチのときに粘り強く乗り越える力として働きに人の底力。そうやって「暮らしに根ざす“み言葉”」こそ、多様な人間を教会に集め、とどめ、きめ細やかに編み上げていく原動力なのです。

「ゆりかごから墓場まで」とは、20世紀に生まれた高福祉社会のキャッチフレーズですが、教会はそのさきがけではありません。一人の人が、いろんなペースで、気が付いたら一生つながり続けていた—そんな居場所がここにはあると、私たちの教会の屋根に立つ十字架は、今も力強く伝えています。  
 元ラガーマンの牧師、音楽を



P221-0802 神奈川県横浜市長神奈川区六角橋1-26-8  
 TEL 045-432-0694 / FAX 045-432-0194

### 相模原キャンパス

### ツリーを一緒に囲んで

福嶋 裕子  
大学宗教主任

青山キャンパスのすくっと立った大きなモミの木に燃然と光り輝くクリスマス・ツリー。その立派さに比べると、相模原キャンパスのモミの木は小さくて可愛らしいものです。ほのかな光が、夕闇をまる冬の広大なキャンパスにやわらかな印象を与えます。

アドヴェントに入る前の最後の金曜日の夕方、毎年、点火祭という名称で礼拝が、両キャンパスでもたれます。アドヴェントは、クリスマスまでに過ごす4週間のごとで、イエス・キリストの到来を待つ季節という意味です。礼拝堂のオルター・クロスは紫色になり、悔い改めの期間でもあります。点火祭自体は教会暦のなかに定められた儀式ではありません。しかし青山学院はモミの木を囲んで野外礼拝を守ります。

私事ですが、米国のポストで、市街の中心地で同じようにモミの木に点火するとき厳かな心配になったことを覚えています。木のまわりにたくさんの人が集まり、見守り、喜びあうのです。相模原キャンパスの点火祭も、学内をそぞろ歩いている人たちに、自然に礼拝に参加してほしいという願いもあって野外で行っています。

点火祭は悔い改めの季節に移行することを明確にする瞬間です。そこには、ほんの少しばかり祝祭の雰囲気もあります。悔い改めとは、自分に鞭打つことではありません。神の愛の完全な到来をはるかに見て、これまでの方向を転換することです。このままでは闇の方向へと流されている自



分をぐーっと神様のほうに向けるのですから、力が必要です。

過去の自分と決別する強さをもたなければなりません。それは自分のなかのパワーでは足りなくて、4週間、自分を振り返り、祈り続けるような持続力を要するものです。

悔い改めは、救いの喜びに満たされたために可能と体。という意味では心から湧き出るワクワク感と一体になったものでもあります。

アドヴェントの時期の礼拝には、そうした特別な意味がこめられて守られています。相模原の点火祭では、礼拝堂にプロジェクションマッピングを当てて幻想的な雰囲気を作り出します。有志のハンドベル・クワイアによる演奏は、礼拝堂の前に繰り広げられる美しいオルゴールのようで、ほんのわずかの間、ものすごく大口をたたけばディズニーランドみたいです。

肌寒い季節ですが、チャンスがあれば、相模原のほんわかとしたクリスマスツリーと一緒に囲んでみませんか。

シリーズ 地の塩、世の光 file 22

わたしは世の光である。  
 わたしに従う者は、暗闇の中を歩かず、  
 命の光を持つ。

8:12 ヨハネによる福音書 8章 12節

### 菅野 万利子

ピアニスト・ニューオーディアアカデミー講師  
 日本福音キリスト連合 永福南キリスト教員



京都に生まれる。相愛大学を経てアメリカンディアナ大学音楽学部卒業後、欧州にて研鑽を積む。「日本音楽コンクール」[NHKオーディション]入選。「文化放送音楽賞」「大阪文化祭賞」、「大阪市吹くやこの花賞」を受賞。相愛大学講師を経て、現在は東京を拠点に活動。TV「ライオン」、ラジオFEBCIに出演。心なむわーヴや作曲家物語を交えたコンサートを中心に、日本全国および海外へピアノのせてキリストの愛と平和を伝えている。  
 CD「Rejoice～喜びのおとずれ～」[Bless You] [Born Again]をリリース。ニューオーディアアカデミー講師。三浦綾子読書会会員。

### 闇から光にうつさされて

台風一過、9月の日曜の朝、まぶしい光の映る水の中で洗礼を受けたのは、35歳の時です。幼い時から続いていたピアノは、いつのまにか人生航路の黒い船となって、その舵は自分だけが握り、成功へと導もとのだと信じていました。大学卒業後、アメリカ留学中の順風の日々に多くの友人を通して伝えられる福音に、私は心を開くことはありませんでした。そんな私に逆風が襲ったのは、いよいよヨーロッパでキャリアを作り始めた頃、母が脳梗塞で倒れたため帰国を余儀なくされ、日常生活が一変したことでした。リハビリのサポート、家事、大学講師、演奏活動と慌ただしい毎日、母が脳出血でついに寝たきりとなってからは、毎日の病院通いで回復できない母を見る悲しさ、時間との闘いで心も体も疲れていきました。私は何のため、誰のためにピアノを弾いているのか…。人生はまるで小筋のない音符の羅列、いつかは死という終止線が終わってしまう曲のようなものなのか、と逆風に襲われた闇の中の小船のようでした。

その後、結婚して東京で主人の両親と同居し、二人の娘の子育てが始まりました。ピアノから離れて新しい大切な家族と過ごす中で自分を見つ直し、人生の本当の羅針盤を求めた時、友人の家庭集会で救い主イエス・キリストとの出会いがありました。

「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」(ヨハネ8:12)

心の闇は「罪」と聖書では言っています。自分で

CHRISTIAN BOOKS & CDs

シリーズ・キリスト教関連メディア紹介

### 『世界で一番たいせつなあなたへ ～マザー・テレサからの贈り物』

文 片柳弘史 絵 RIE PHP研究所 2015年(1,200円+税)

林 謙二  
中等部教諭

《マザー・テレサ》読者のみなさんの中でこの名前を知らない人は、おそらく一人もいないでしょう。では、マザーと会ったことのある人。直接話したことのある人？ おそらく一人もいないのではないですか。

1981年、1982年、1984年の3回、マザーは来日しました。しかし、もちろん、私も会ったことも話したこともありません。

著者の片柳弘史神父は、インド・コルカタのマザーの元で、ボランティアとして働いたことがあります。現在はイエズス会の神父として山梨県のカトリック教会の主任司祭をされていますが、神父になったきっかけはボランティア活動をしていたから、**「いつまで迷っているのですか。あなたは神父になりなさい。」**という、



マザーの一言だったそうです。この本は、マザーが遺した言葉、その言葉について片柳神父が書いたエッセイ、そして「世界中に笑顔を広げるアーティスト」RIEさんの絵で構成されています。特に片柳神父のエッセイは、私たちの心に深く沁みとおるようによりわかりやすくマザーの言葉を説いています。  
 収録されている言葉は、悩んでいる私を手差し伸べ、苦しみを癒して

いる私に進むべき正しい道を教え、疲れている私を癒やしてくれます。マザーは、初めて出会う誰に対しても、愛をもって温かく迎えてくれたそうです。だから、マザーと出会った人はみな、「自分こそ、世界で一番マザーから愛されている」と感じました。  
 この本によって、マザーとは会ったことのない私たちに今一番必要な言葉を、愛と共に降り注いでくれるように。

### 賀川豊彦の祈り

神よ、 我らの国全体をあなたのお守りのもとにおき給え。  
 われらの輝ける光なる神よ、この国から罪を取り除き、悲しみの深淵から引き上げたまえ。すべての国々の主よ、我らを嘆きと不幸から救い給え。  
 あなたの加恵によって我らを祝福し、貧しいものが抑圧されないように、また富めるものが抑圧するものとならないように。  
 この国が、神以外の支配と、愛以外の権威をもつ国とになりませぬように。

アーメン。

### 編集後記

Wesley Hall News 第119号

2015年11月24日発行

発行 青山学院宗教センター 学際宗教部長 シューザール  
 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
 TEL 03-3409-6537(ダイヤル/センター)  
 (URL) http://www.aoyamagakuin.jp/center/index.html  
 (E-mail) agacc@aoayamagakuin.jp  
 編集 ウェスレー・ホール・ニュース編集委員会  
 印刷 株式会社 万全社

ウェスレー・ホール・ニュース第119号をお届けします。執筆者一人ひとりが心に描く「クリスマス」を色濃く感ぜられる記事をお寄せいただきました。主イエスキリストが私たちの為にお生まれになったこと、喜び、そして感謝の思いが満ち溢れる内容の今号となりました。教会暦では、いよいよ待降節に入ります。イエスキリストの降臨を覚える時として、学院に連なる一人ひとりが、主のたいなる愛に包まれて過ごしていきたいと思います。(幼稚園教諭 迫田 敏幸)

CHRISTIAN ACTIVITIES CENTER NEWS

宗教センターだよ!

---

高等部より

クリスマス礼拝  
12/18金 高等部PS講堂  
説教 増田 琴(経営顧問教会教師)

クリスマス合同コンサート  
12/19土 15:30~  
高等部PS講堂  
オルガン部、聖歌隊、ハンドベル部の演奏。

ホワイトキャンブ(高等部伝道キャンブ)  
2015年1/4月-6水

(宗教主任 相良 昌彦)

---

女子短大より

クリスマス礼拝  
12/9水 13:10~14:30  
カウチャー記念礼拝堂  
説教 関田 寛雄(日本キリスト教団巡回教師、青山学院大学名誉教授)

聖歌隊、ハンドベル、クワイア  
クリスマス・チャリティ・チャレコンサート  
12/18金 18:15~19:30  
カウチャー記念礼拝堂  
井上とも子(チェロ)、短大同窓会ハンドベルクワイア

(女子短大宗教活動センター)

# 喜ぶ人は喜ばない人のように

「ソレントの信徒への手紙」第7章30〜31節

## 説教

喜ぶ人は喜ばない人のように

塩谷 直也  
大学宗教主任



### 教育の到達点

この聖句は、パウロという人の言葉です。もしもパウロが今も生きていたなら、学校の教員として働く私に、何と言ったでしょう？

こう言ったかもしれませんね。「教える人は、教えない人のようにすべきです。子どもたちを愛したい人は、愛さなかった人のようにすべきです。」

イギリスの作家C.S.ルイスが「愛を与える」ということに関して、「与えるということの本当の目的、それは愛を受け取る側がもはや受け取る必要のない状態になることだ」と語っています。彼は続けます。「私たちが子供を養うのは、子供がやがて自らを養うことができるようになるためである。私たちが子供に教えるのは、子供が私たちの教えをやがて必要としなくなるためである。従って、この与える愛には、つらい仕事が課せられる。」

愛するとは、とてもつらい仕事。なぜなら私たちは、私たち自身が、不必要となることを目指さねばならない。愛は、愛自体を放棄するために働かねばならないからです。「子供たちは、もはや私を必要としない」と私たちが言うるときが、私たち

の教育のゴールであるべきなのです。

### つらい仕事

これはかなり教師にとってはつらいことです。

程度の差はあれ、多くの教師が子供たちから慕われ、必要とされたいと願って働いています。子供たちの期待に応えて働けることは、とてもうれしいことだからです。どんなに眠たい朝も、満員電車がこたえる日も、同僚とうまくいかなくても、子供たちのキラキラした瞳を思い出せば、学校に足が向きます。教師という仕事に自信を持って、自分を必要として、慕ってくれる子がいることで、教師は再び勇氣と力を取り戻します。私も何度経験したことでしょう。「もう辞めよう」と思った時に限って、学生たちが子供たちに励まされて立ち上がったことが！そうです。教師は子供たちに必要とされるからこそ、やりがいもある。元氣も出る。

でも、でも、だからこそ忘れてはならない。いつの日か子供たちは巣立っていくことを。私のことを見捨てて旅立つことを。もはや私の支えを必要とせず、成長して視界から消えていくことを。

だから、教える人は、教えない人のように生きるのです。愛し、愛されて生きる人は、愛さず、愛されなかったように生きます。すべては過ぎ去るからです。「見殺しく見える。でもこの生き方こそが、実は子供を最も健やかに育てます。子供たちを、自分の弟子(家来?)として縛ることなく、神の子として、キリストのもとで自由にのびのびと育てることに繋がるのではないのでしょうか。

### 最良のものは前に

青山学院と同じキリスト教信仰の上にて建てられた東洋英和女学校(現在の東洋英和女学院)校長だったイザベラ・ブラックモア(1863~1942)が語った、卒業式の式辞が残されています。

「今から15年、20年、30年ののちにあなたがかが今日のこの時代を思い返して、なおかつ、あの時分が一番楽しかった、一番幸福だった、と心底から思うようなことが！ そうです。教師は子供たちに必要とされるからこそ、やりがいもある。元氣も出る。

でも、でも、だからこそ忘れてはならない。いつの日か子供たちは巣立っていくことを。私のことを見捨てて旅立つことを。もはや私の支えを必要とせず、成長して視界から消えていくことを。

ず前進して行くのが真実の生き方です。若い時代は準備のときであり、その準備の種類によって次の中年時代、老年時代が作られていきます。最上のは過去にあるのではなく、将来にあります。旅路の最後まで希望と理想を持ち続けて進んで行く者であってください。」

ブラックモアは知っていました。子供たちが前を向き、もはや教師の教えも職員支えも必要とせず、自分の足で未来を切りひらいて旅立った時、教育は成功したのだと。逆にもしも子供たちが、いつまでも教職員を必要とし、ああ、あの頃が良かったと嘆くならば、それは教育の失敗なのです。

時代を越えてこの事実是不変わります。私たちの務めは子供たちを振り返らせることではない。いつまでも馴れ合いのような絆を保ち、思い出に没り続けることでもない。最良のものは前にあると信じ、学校から遠く先へと送りだすのが務めです。

ヨセフとマリアも同じ思いでイエスを育てたのではないのでしょうか。イエスが全世界を救う冒険へと迷いなく旅立てるよう、教えながら教えない人のように、最良のものは前にある、と信じ続けた、謙虚な、若い二人だったのではないのでしょうか。

# 特集 平和なクリスマス

待ちに待ったクリスマスがやってきます。私たちに平和をくださるために、神様はイエス様を浮かべてくださいました。私たちの心も、そして社会も、あまねく平和になりますように――。クリスマスに寄せる思いを、各部のみなさんに語っていただきました。

Special Issue : A Peaceful Christmas

## 希望の光

待降節に入ると、幼稚園では週に1回、3週にわたりアドヴェント礼拝が持たれます。その中で子どもたちは、クリスマスまつわのお話を保育者から聴いたり、クリスマスの讃美歌を歌ったりします。また、お母様方はハンドベル演奏のご奉仕をしてくださいます。このように幼稚園全体でイエス様の御降誕を待ち望む大切な時として、大事にしているのです。

また子どもたちは保育の中で、おうちの方へのプレゼント作りをします。昨年度は、紙粘土を用いてそれぞれの家庭に飾れるリースを作る学年、同じ紙粘土を用いて好きなものを入れるお皿を作る学年がありました。また、光が当たると透けて見えるトランスパレント紙を使ってクリスマス柄の切り絵を作る学年もありました。子どもたちはおうちの方のことを思い、小さな手をコツコツと動かしながら作っていきます。こうしたプレゼント作りに加えて、アドヴェントカレンダーを作ったり、クリスマスの讃美歌を歌ったりして、もうすぐクリスマスが来ることを一人ひとりが楽しみに待ち、アドヴェントの期間を過ごしていきます。

そして迎えるクリスマス礼拝当日。降誕劇を中心とした礼拝の中では、年長児は一人ひとりが大切な役を担い、演じていきます。年少児、年中児はその中で賛美をすることを通じて参加します。また、年長児のお母様方による賛美もその中で持たれます。その場に集う皆が心を一つにして、神様が私たちにイエス様をくださったことを喜び祝い、感謝する礼拝を守ります。

こうしたアドヴェントにおける様々な活動、そしてクリスマス礼拝を通して、子どもたちには、私たちにイエス様を与えてくださった神様の豊かな愛を感じてほしいと思います。幼き頃に感じた神様の愛、そこから生まれる温かく満たされた気持ちは、大人になっても色褪せることなく心の基盤となるものであると感じています。幼児期に経験した「クリスマス」が、時を経てもその人の心を照らす光となることを願っています。



希望の光  
待降節に入ると、幼稚園では週に1回、3週にわたりアドヴェント礼拝が持たれます。その中で子どもたちは、クリスマスまつわのお話を保育者から聴いたり、クリスマスの讃美歌を歌ったりします。また、お母様方はハンドベル演奏のご奉仕をしてくださいます。このように幼稚園全体でイエス様の御降誕を待ち望む大切な時として、大事にしているのです。

あかつ みほ  
初等部1年

しょうぶにはいるまえのクリスマスは、きょうかいとようちえんでお祝いしていました。げきをしておいしかったです。ねんちゃんさんになると、やどやさん、ほし、マリアさま、ヨセフさまのやくができます。イエスさまのやくは、おままごのにんぎょうです。わたしは、イエスさまにあいにくみちをおしえてくれる、おおきなほしのやくをしました。たくさんしゅうして、たのしくできました。



あかつ みほ  
初等部1年  
しょうぶにはいるまえのクリスマスは、きょうかいとようちえんでお祝いしていました。げきをしておいしかったです。ねんちゃんさんになると、やどやさん、ほし、マリアさま、ヨセフさまのやくができます。イエスさまのやくは、おままごのにんぎょうです。わたしは、イエスさまにあいにくみちをおしえてくれる、おおきなほしのやくをしました。たくさんしゅうして、たのしくできました。

わたしにとつてのクリスマス

毎年クリスマスが近づいてくると、町にはクリスマスツリーや、きれいなイルミネーションがたくさんござられて、わたしはどでもうれしくなります。

向野 真生子  
初等部3年

毎年クリスマスが近づいてくると、町にはクリスマスツリーや、きれいなイルミネーションがたくさんござられて、わたしはどでもうれしくなります。青山学いんに入学する前のわたしは、クリスマスといえば、ケーキやプレゼントのことばかりを考えていました。でも、青山学いんでイエス様のお話を聞いた、教会のクリスマス会でページェントをした日、クリスマスの本当の意味―イエス様のおたん生日を思い出す大切な日―を知りました。クリスマスにはけん金をささげますが、3年ぐらい前からわたしは毎年、自分が読んだすきになった本をじ童ようごせつに送っています。そこでは、お父さんやお母さんといっしょにすむことができない子どもが生活しています。その子たちにも、クリスマスはしあわせな気持ちになってほしいからです。

今年のクリスマスもだれかにプレゼントをして、イエス様のおたん生日を思いわいたいと思います。

光に向かつて

「さあ、バツレヘムへ行こう。主が知らせてくださいその出来事を見ようではないか。」

浅野 香奈  
中等部3年

私は2000年12月25日に神様から命を与えて頂いた。教会で聖歌隊をしていた母は、イヴ礼拝で大きなお腹を抱えながら神様を讃美したそう。そして礼拝後、クリスマスに私が生まれた。当時5才だった姉は神様から赤ちゃんとプレゼントを頂いたと大はしゃぎだったそう。

変えられたクリスマス

私は中等部に入学したことがきっかけで母と妹が一年程前から行っていた教会に通い始め、そこでイエス様が私の救い主であると信じました。その時から、私にとってのクリスマスの意味はがらっと変わりました。

四方 ミリ  
高等部2年

私は小さい時から、クリスマスはイエス・キリストというんだかすごいらしい人が生まれたことをお祝いする日なんだな、とは知っていました。家に、クリスマスはなんの日か、をテーマにした絵本が何冊も置いてあったからです。ミッションスクール出身の母は、どうしても私にクリスマスの意味を知ってほしかったので、ざりげなく伝えようとしていたそうです。

最高のプレゼント

クリスマスという、クリスマスケーキや、イルミネーション、プレゼントなどが連想されると思いますが、クリスマスの本当の意味を考えたことがあるでしょうか。

高柳 はるか  
女子短期大学 子ども学科1年

私の家族は皆クリスチャンで、私も小さいころから教会に行っていました。クリスマスが「イエス様が生まれた日」だということは知っていましたが、クリスマスはなんの日か、をテーマにした絵本が何冊も置いてあったからです。ミッションスクール出身の母は、どうしても私にクリスマスの意味を知ってほしかったので、ざりげなく伝えようとしていたそうです。

鈴木 志保  
大学院 会計プロフェッション研究科1年

私のクリスマスは、ボランティア先の緩和ケア病棟のクリスマス会と家族との食事会で1年を無事に過ごせたことに感謝しながら厳かに過ごします。今年、人生での転機期ですので、特別なクリスマスとなりそうです。

私は、大学までミッション系の学校で穏やかに過ごしてきました。そして、新卒で国際線の客室乗務員としてエアラインに就職します。様々な人との出会いや変化のある仕事は、毎日が新鮮で、人が喜ぶ顔を見ることが好きな私にとって天職だったのでしょうか、楽しくて瞬く間に10年が過ぎて行きました。乗務員として世界を飛び回っていると、楽しいことも多い反面、地上勤務ではあり得ないような辛いことも遭遇することがあります。そして、私にとっては最も大きな試練が訪れるのです。

私は、9・11で目の前で大切な人を亡くしました。あの衝撃と悲しみは一生涯忘れることが出来ないということを知りました。「悲しみ」を抱えながらも勤務に耐えられたのは、私の心の中に小さな頃から「聖書」の教えが培われていたからだと思います。そして、大きな「悲しみ」が深い「哀しみ」に変わっても押し潰されずに頑張れたのは、両親やかけがえない友人達に支えられていたからです。飛行機と高層ビルへの恐怖と闘いながら、必死に仕事を続け、心も身体も限界に達していたあるクリスマスの日、お世話になったシスターから「人は生きているのではなく、人との繋がりの中に生かされているのだ」ということを教わりました。それからは、一期一会を大切に、小さなことにも感謝をしながら、前向きに人生を過ごしています。

私は今までずっと公立の学校に通っていたので、学校行事でクリスマスをお祝いしたことがありません。女子短期大学に入学して、いつとも一緒に学んでいる仲間たちと一緒にクリスマスは、学院の礼拝でこのような大きなお恵みを頂いたことも嬉しい、楽しみです。

大学コスベル・クワイア  
クリスマスコンサート(入場無料)  
12/5土 17:30~19:30  
カウチャー記念礼拝堂

大学聖歌隊 クリスマス奉唱会(入場無料)  
12/12土 18:00~20:00  
カウチャー記念礼拝堂

クリスマス礼拝  
12/15火 18:30~19:30  
青山キャンパス  
カウチャー記念礼拝堂

12/17木 18:30~19:30  
相模原キャンパス  
ウェスレー・チャペル

大学生を対象として、ですが、どなたでも参加できます。

大学ハンドベル・クワイア 第32回  
クリスマスチャレコンサート(入場無料)  
12/19土 18:00~20:00  
カウチャー記念礼拝堂

オルガニスト養成講座  
受講生発表会 15:00~  
相模原キャンパス  
ウェスレー・チャペル

2016年1/16土 14:30~  
2016年1/23土 青山キャンパス  
カウチャー記念礼拝堂

講座受講の学生による「パワフルガム」演奏発表会です。

オーストラリア・  
クリスマスファミリー・  
ホームステイ・プログラム  
2016年2/5金-2/27土  
クリスチャン家庭に滞在し、現地校で英語研修、日曜日には礼拝出席とキリスト教や異文化の体験をします。また、地元の小中高生とも触れ合いの時があります。

(宗教センター事務局)

## 本部より

クリスマス・ツリー点火祭  
〜降誕を待ち望む礼拝  
11/27金 相模原キャンパス16:40~  
青山キャンパス 17:50~  
全学院の礼拝として行います。

Art クリスマス Aoyama  
11/25水-12/16水 短大  
クリスマスツリーマと絵画展。  
どなたでもご自由においでください。

全学院教職員新年礼拝  
2016年1/5火 17:00~  
カウチャー記念礼拝堂

(宗教センター事務局)